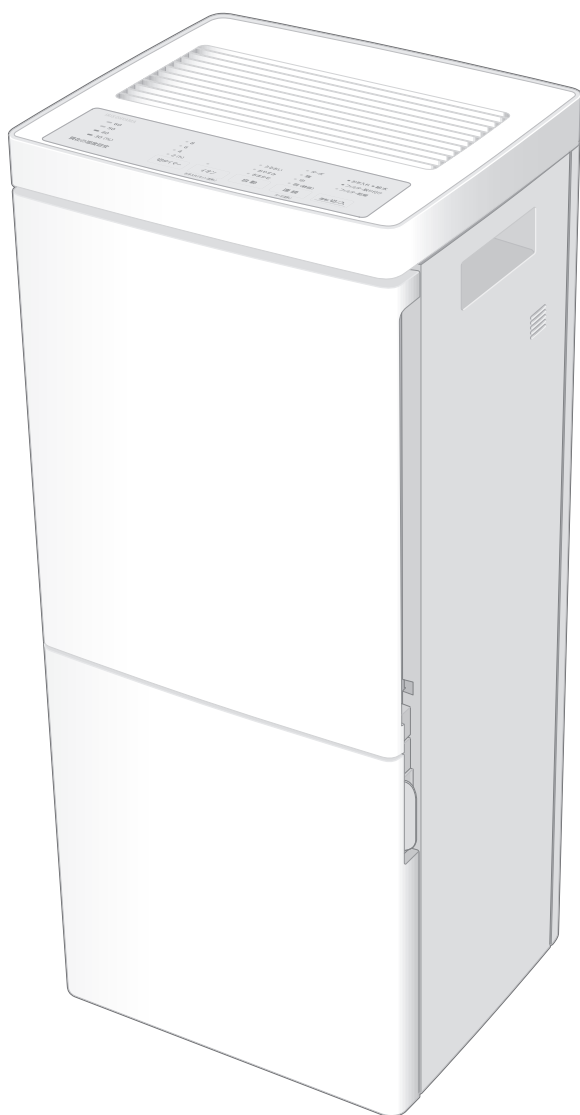


IRIS OHYAMA



取扱説明書 気化加湿器 型番 HDF-1000

室内・家庭用・日本国内専用 (FOR USE IN JAPAN ONLY)

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見るできるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用の前に

安全上の注意	3
設置の注意	6
使用上の注意	6
各部の名前	7
本体	7
操作パネル	8

取り扱いかた

準備する	9
使いかた	12
連続運転（弱（静音）／中／強／ターボ）	12
自動運転（おまかせ／おやすみ／うるおい）	12
切タイマー	13
イオンモード	13
給水ランプが点滅したとき	13
お手入れランプが点滅したとき	14

お手入れ

水タンク	15
トレイ	15
本体・前パネル・トレイ前パネル	16
プレフィルター	16
ポンプセット	17
銀ビーズユニット	18
加湿フィルターセット	19
内部清潔モード	19
加湿フィルターの交換	20
ポンプセットの交換	20

こんなときは

こまったときは・・・	21
------------------	----

アフターサービスとその他の内容

仕様	22
別売品・消耗品	23
保証とアフターサービス	23

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に
差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動するときは、必ず
電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

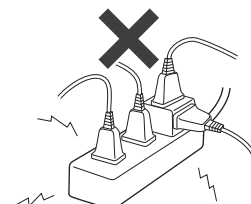
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電
源コードは、必ずのばして使用してください。
- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コ
ンセントの差し込みがゆるいときは使わ
ない
ショートによる火災・感電の原因になります。
電源コードが破損したときは、修理専用コー
ルへお問い合わせください。
- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ
張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張
る、ねじる、重いものを載せる、はさみ込む
などしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因にな
ります。
- コンセントや延長
コードなどの定格を
超える使いかたをし
ない
火災の原因になりま
す。
- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、
潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナー
など）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
引火して火災の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、
電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかつ
たりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとピリピリ電気を感じる→使用を中止し、お買い上げの販売店またはア
イリスコールへお問い合わせください。

安全上の注意 つづき



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない
- 水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- 屋外で使用しない
故障して火災の原因になります。
- 子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせない
- 乳幼児に触れさせない
けがや感電の原因になります。

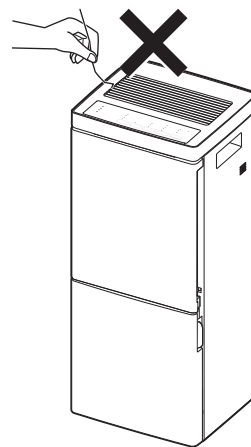


分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 吹き出し口・吸気口などのすき間にもものや手を入れない
感電やけがの原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

水タンクの水について



- 毎日新しいものに取り替える
水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり、空気を汚染して疾病の原因になります。

- 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンクおよび本体内の水を捨てる
水が入ったまま放置すると、異臭を発したり、空気を汚染して疾病の原因になります。

- 凍結しそうなときは、水タンクおよび本体内の水を捨てる
凍結すると、故障・水もれにより、周囲の汚損の原因になります。



- 水道水以外は使用しない
40℃以上のお湯・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などを起こして、水もれや周囲の汚損の原因になります。

- 残った水を料理や飲み水に使用しない
健康を害する原因になります。

設置・移動するときは



- 不安定な場所に置かない
転倒すると、水がこぼれて感電や火災の原因になります。
転倒したときは、水を拭き、十分乾かしてから電源プラグを差し直してください。

- 本体は取っ手以外を持って運ばない
- トレーユニットはトレー前パネルを持って運ばない
落下してけがの原因になります。



- 水タンク、トレーを運ぶときは、ハンドルを持つ
落下してけがの原因になります。

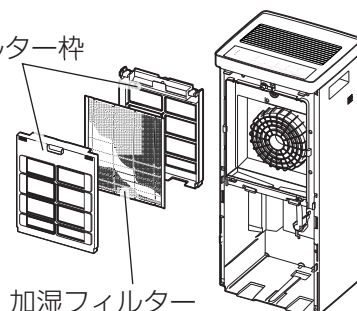
- 本体を移動するときは運転を止め、水タンクを抜いてトレーの水を捨てる
水がこぼれて家財などをめらす原因になります。

運転するときは



- 必ず、フィルター枠に加湿フィルターをセットする
水がこぼれて家財などをめらす原因になります。

フィルター枠



加湿フィルター



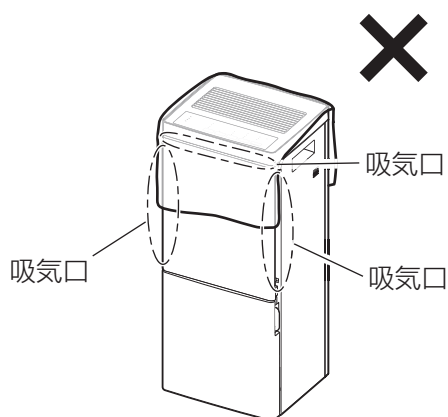
- 水平で安定した床の上で使用する
毛足の長いカーペットや布団の上などで使用すると、転倒してけがをしたり水もれしたりするおそれがあります。



- 水タンクやトレーを正しく取り付ける
水もれや周囲の汚損の原因になります。
お手入れしたときも、各部品を正しく取り付けてください。



- 吹き出し口や吸気口をふさがない
水もれや過熱の原因になります。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 可燃性のものや、火のついたたばこ・線香などを近づけない
火災の原因になります。



- 加湿器の上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない
転倒によるけがや火災の原因になります。

- 磁石や金属物は載せない
フィルターを検知する磁石が動き、誤動作を起こす可能性があります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

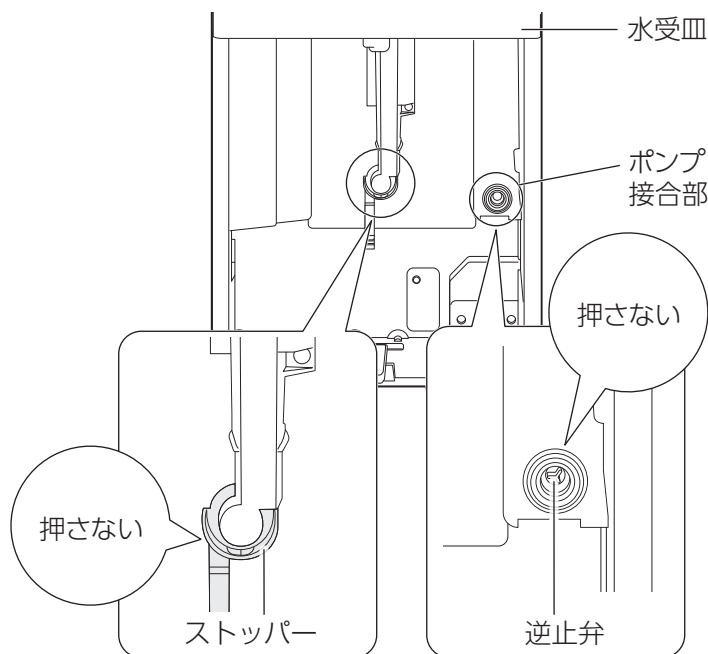


- 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを水タンクやトレーに入れない
水タンク、トレーが破損して家財などをめらす原因になります。

- 本体を倒さない
水がこぼれて感電や火災の原因になります。

- 運転中にトレーを取り出さない
家財などをめらす原因になります。
トレーは運転を停止して、約1分以上経ってから取り出してください。

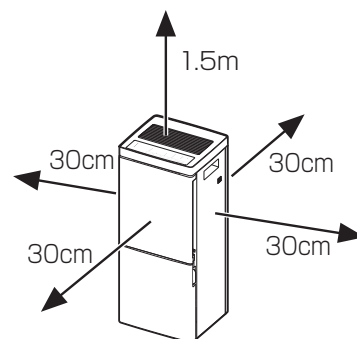
- トレーを取り出したときは、本体側にあるポンプ接合部分の逆止弁や水受皿のストッパーを押さない
家財などをめらす原因になります。



設置の注意

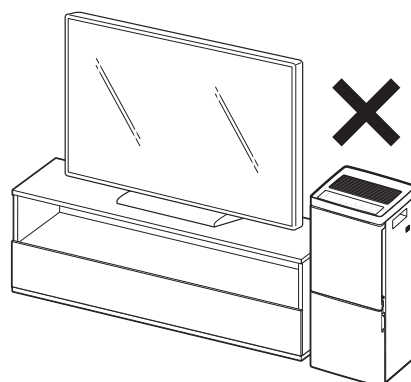
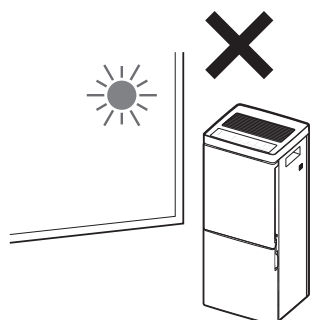


- 設置の際は、カーテン・壁・家具などから右図に示す距離を離してください。
家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。
- 加湿された風が、テレビなど電気製品に直接当たるところに設置しないでください。
電気製品に結露すると、電気製品の故障の原因になります。
- 暖房器具・ホットカーペットなどの上で使用しないでください。
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。



使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください。
変形・変色したり、センサーが温度・湿度を正しく検知できずに誤動作することがあります。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- ベンジンやシンナーで拭いたりしないでください。
破損・故障の原因になります。
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など、磁気の出る機器の近くで使用しないでください。
誤動作することがあります。

使用環境について

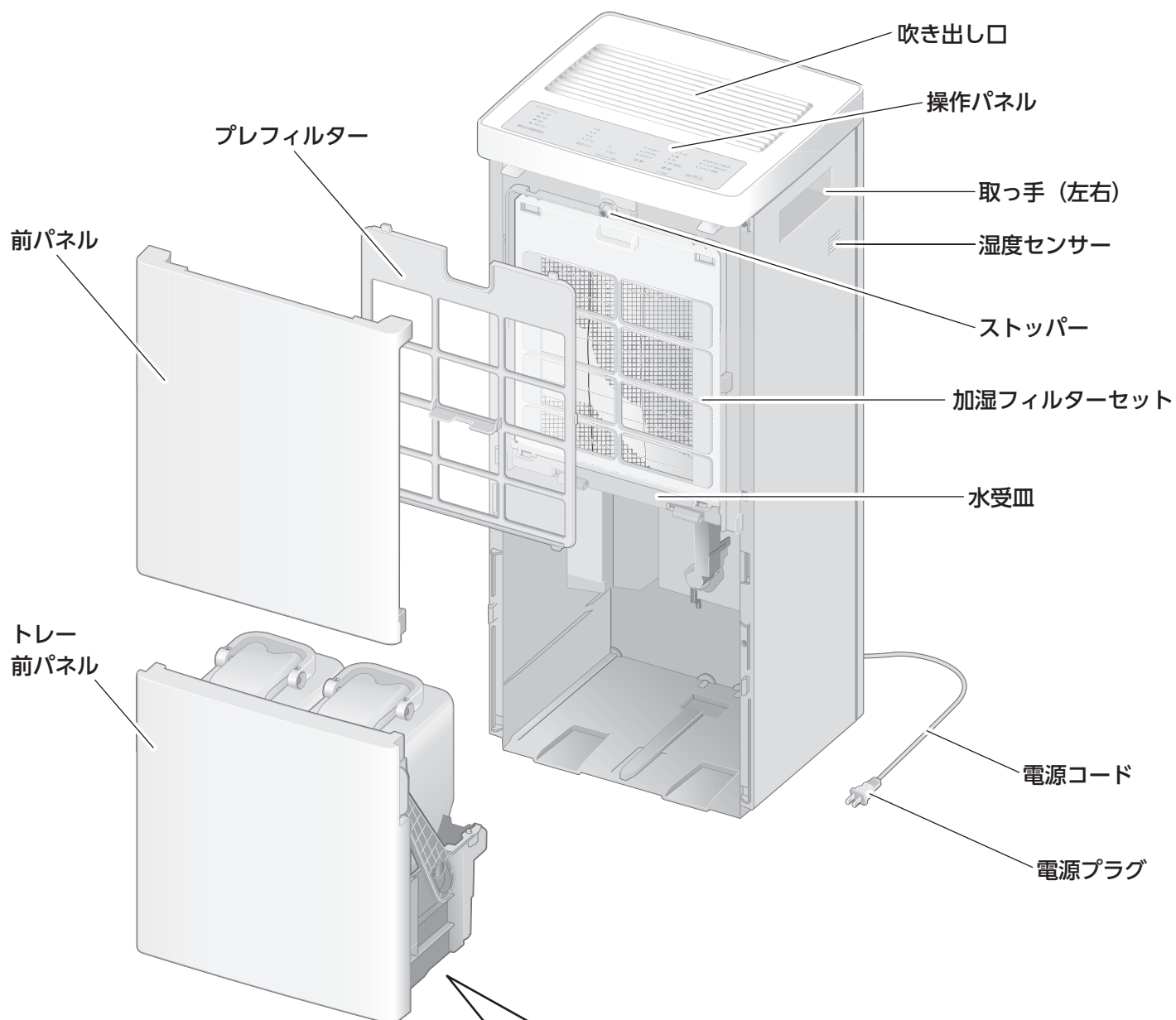
- 室温は5 ～ 35℃で使用してください。
室温が低いと、床ぬれや結露が起こりやすくなります。
- 水平で安定した床の上で使用してください。
転倒時けがをしたり、水もれしたり、給水が不十分になり加湿できなくなったりします。

廃棄について

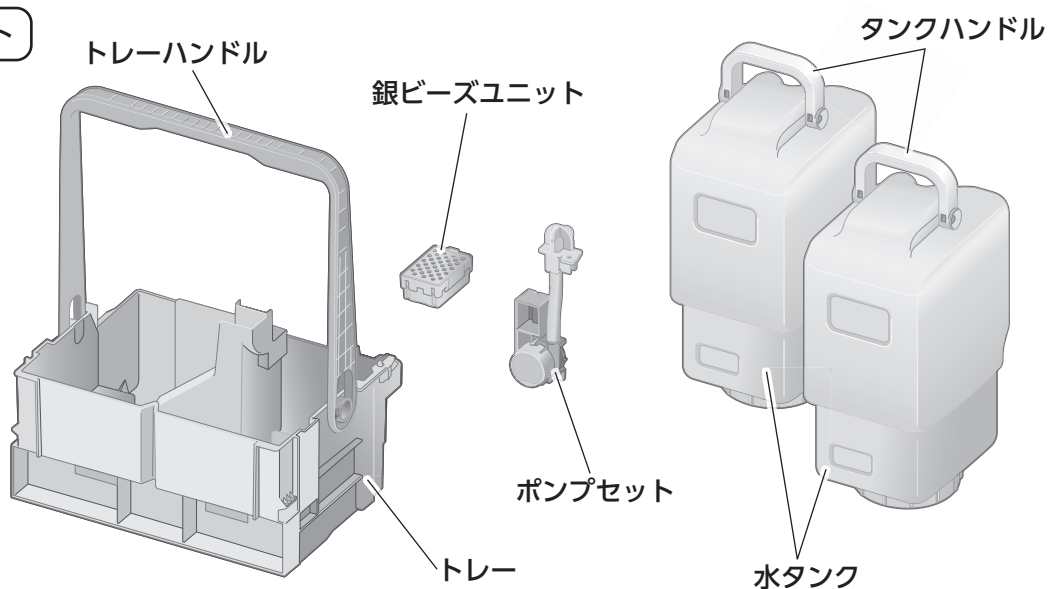
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名前

本体

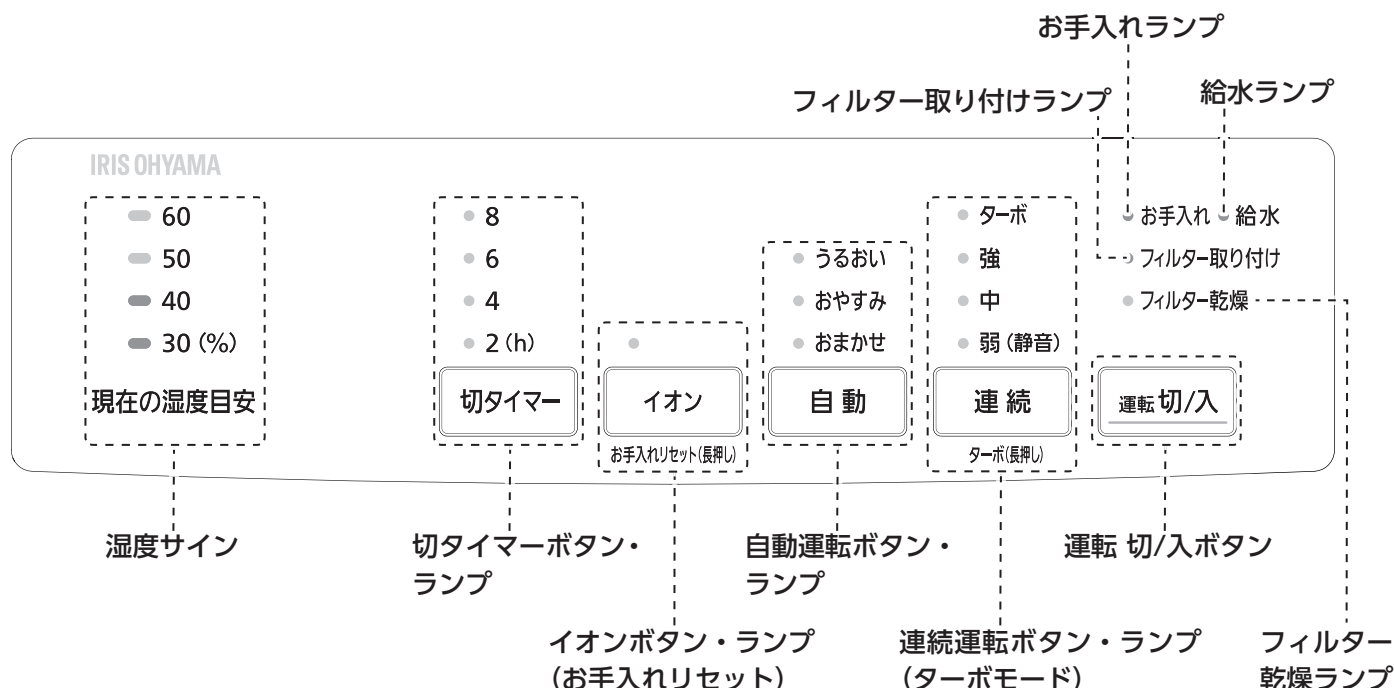


トレーユニット



各部の名前 つづき

操作パネル

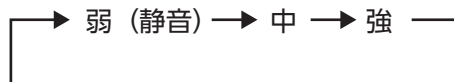


●運転 切/入ボタン

ボタンを押すと、運転を開始します。再度ボタンを押すと、運転を停止します。(→P12)

●連続運転ボタン・ランプ

ボタンを押すたびに、運転モードが次のように切り替わり、連続運転します。(→P12)

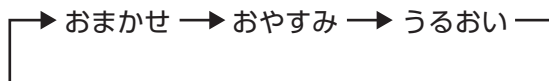


(ターボモード)

長押しをしてターボ運転モードに設定します。再度ボタンを押すと、弱(静音)モードに戻ります。(→P12)

●自動運転ボタン・ランプ

自動運転は、ボタンを押すたびに、運転モードが次のように切り替わります。(→P12)



●イオンボタン・ランプ

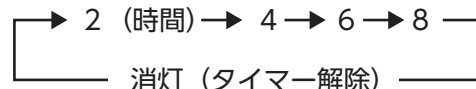
ボタンを押すたびに、イオンモードを入/切します。(→P13)

(お手入れリセット)

お手入れ時にボタンを長押ししてお手入れランプを消灯させます。(→P14)

●切タイマーボタン・ランプ

ボタンを押すたびに、次のように時間が切り替わり、切タイマーがスタートします。(→P13)



●湿度サイン

室内の現在湿度の目安を表示します。

60%
50%
40%
30%

※湿度サインは目安です。室内の湿度計の表示とは異なる場合があります。

●お手入れランプ

お手入れの時期が来ると点滅してお知らせします。(→P14)

●給水ランプ

水タンクが空になると、アラームが鳴り、ランプが点滅します。(→P13)

●フィルター取り付けランプ

ストッパーで加湿フィルターセットを固定していないと、アラームが鳴り、ランプが点滅します。加湿フィルターセットを取り付けていないと、アラームが鳴り、ランプが点灯します。

●フィルター乾燥ランプ

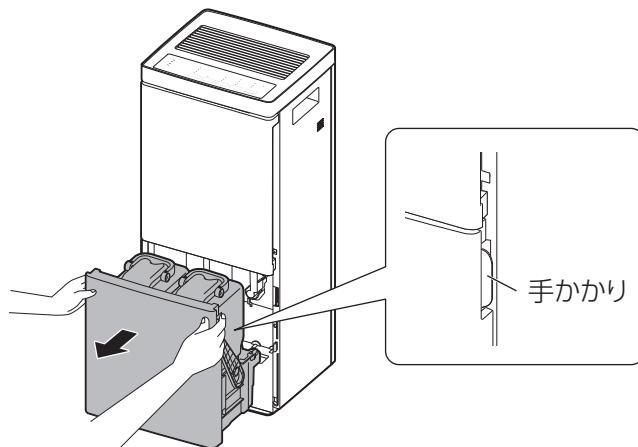
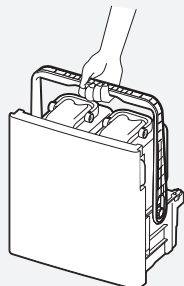
フィルター乾燥が動作中に点滅します。

準備する -水タンクに水を入れる-

1

本体からトレーを取り出す

- 両手で手かかりを持って、手前にゆっくりと引いてください。
- トレーハンドルをもってトレーを運んでください。

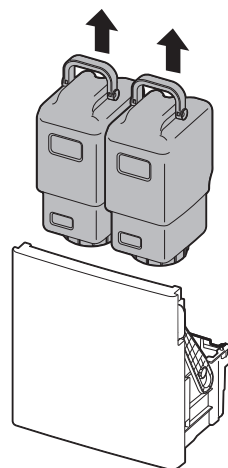


i お願い

- 電源プラグはまだ接続しないでください。
- 勢いよく手前に引かないでください。
水もれの原因になります。
- トレーを取り出した後は、必ずトレーハンドルを持って運んでください。
トレー前パネルを持って持ち運ぶと、トレー前パネルが外れてトレーが落下することがあります。

2

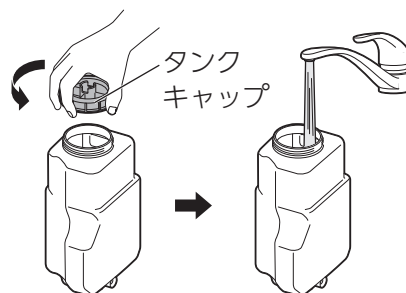
トレーから水タンクを取り出す



3

水タンクに水を入れる

- ① 水タンクの上下をひっくり返す
 - ② タンクキャップを外す
- ③ 水道水を入れ、タンクキャップをしっかり締める



i お願い

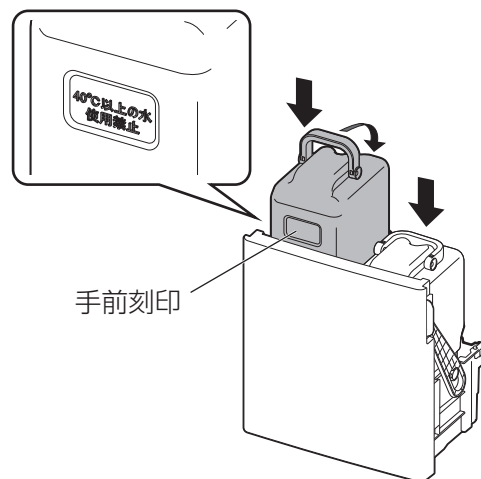
- 水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯・ミネラルウォーター・井戸水などは入れないでください。
- 水に化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを入れないでください。
家財などをめらす原因になります。
- タンクキャップは確実に締めてください。
タンクキャップが斜めになっていたり、ゆるんでいたりとすると、水が水タンクからこぼれて、本体の故障や水もれの原因になります。

準備する -水タンクに水を入れる- つづき

4

水タンクをトレイに戻す

- 水タンクを戻すときは、タンクの手前刻印がトレイ前パネル側にくるように戻してください。水タンクは左右共通ですので、どちらにでも戻せます。
- タンクハンドルは、奥側に倒してください。



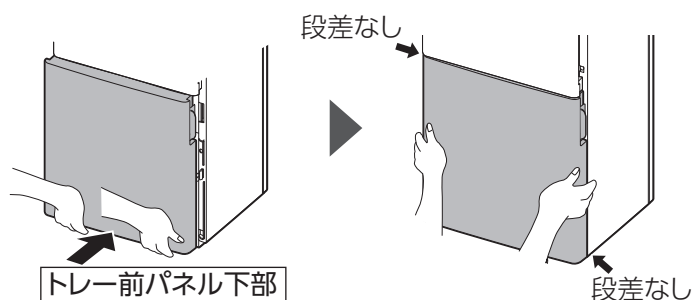
i お願い

- 水タンクをトレイに戻すときは、上から落としたりせず、ゆっくりと戻してください。破損の原因になります。

5

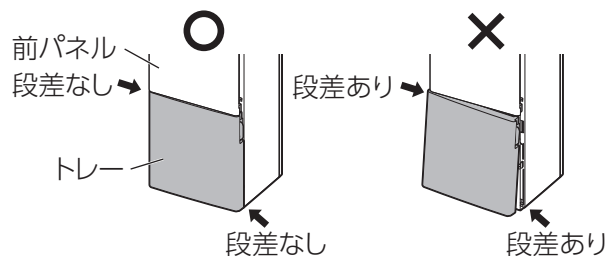
トレイを本体に戻す

- ① 本体に取り付ける
床を傷つけないように、注意して戻してください。
- ② 奥に当たるまでトレイ前パネル下部を押す
- ③ 両手でしっかり押し込んで左右の手かかりを確実に取り付ける



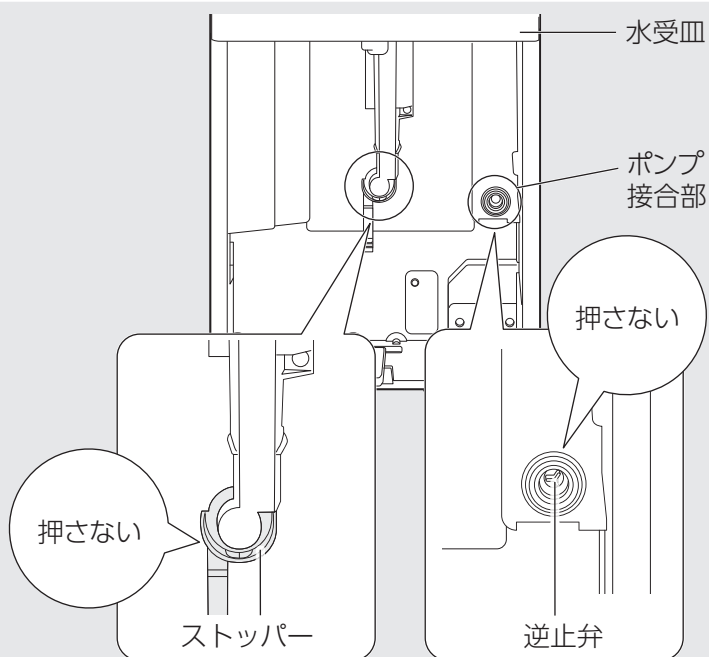
i お願い

- トレイ前パネルを持って運ばないでください。トレイ前パネルが外れて、トレイが落下することがあります。
- トレイは奥までしっかり押し込んで確実に取り付けてください。
押し込めていなかったり、段差があると加湿しなかったり、異音が生じることがあります。





- トレーを取り出したときは、本体側にあるポンプ接合部分の逆止弁や水受皿のストッパーを押さない。家財などをぬらす原因になります。

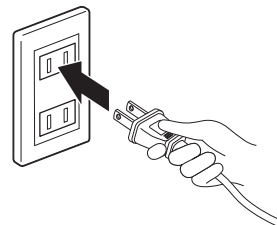


電源を入れる

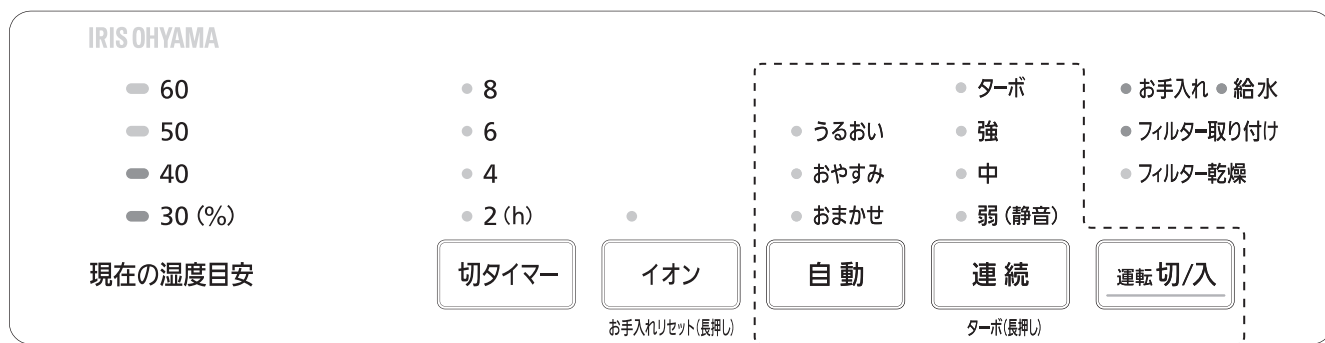
6

電源プラグをコンセントに差し込む

(差し込む前に、電源プラグや手についた水は拭いてください。)



使いかた



1 運転切/入を押す

- 運転を開始します。

2 連続 または 自動 を

ターボ(長押し)

押し、運転モードを選ぶ

- 約3分間の準備運転を開始します。
(湿度サインの30、40、50、60が順次点滅します)
- 準備運転中でも運転モードを選ぶことができますが、運転モードに関わらず弱い風がです。

3 運転切/入を押し、運転を止める

- 運転終了後は、フィルター乾燥ランプが点滅し、数分間送風運転をしてから、停止します。フィルター乾燥ランプが消灯するまでコンセントから電源プラグを抜かないでください。

連続運転 (弱 (静音) / 中 / 強 / ターボ)

湿度センサーの状態にかかわらず、設定した風量で連続運転を行います。

連続

ターボ(長押し)

ボタンを押すたびに、運転モードが切り替わります。
(ランプが青に点灯)

- 自動運転選択時に連続運転に切り替えた場合は、自動運転が解除され、連続動作になります。

ターボ

ボタンを長押しすると、風量「ターボ」で、連続加湿を行います。
再度ボタンを押すと、風量「弱 (静音)」に戻ります。

強

風量「強」で、連続加湿を行います。

中

風量「中」で、連続加湿を行います。

弱 (静音)

風量「弱」で、運転音を抑えて、連続加湿を行います。

自動運転 (おまかせ / おやすみ / うるおい)

湿度に応じて加湿の量を調整し、運転を行います。

自動

ボタンを押すたびに、運転モードが切り替わります。
(ランプが青に点灯)

- 連続運転選択時に自動運転に切り替えた場合は、連続運転が解除され、自動動作になります。

うるおい

目標湿度を約65%に設定して、自動運転します。

おやすみ

目標湿度を約60%に設定して、自動運転します。
※おやすみモードのときは、操作部のランプは減光し、また給水ランプが点滅しても、アラームは鳴りません。

おまかせ

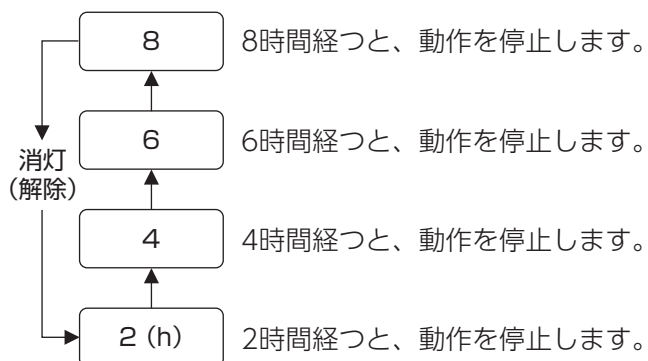
目標湿度を約60%に設定して、自動運転します。

切タイマー

動作を停止するまでの時間を設定します。

切タイマー

ボタンを押すたびに、設定時間が切り替わります。
(ランプが青に点灯)



❗ お願い

●切タイマー設定前に、水タンクの水量を確認してください。
水量が少ないと、設定時間前に運転が停止することがあります。

イオンモード

イオン

お手入れリセット(長押し)

ボタンを押すと、イオンモードの入/切が切り替わります。
イオンランプ点灯中は、イオンを放出します。

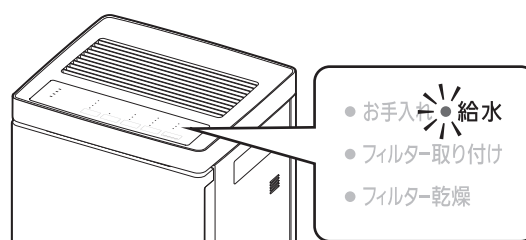
給水ランプが点滅したとき

使用中に水タンク内の水がなくなると、給水ランプが点滅して運転が停止します。給水してください。(→P9～10)

- 水タンクに給水して本体にセットし、**運転切/入**を押すと、給水ランプが消灯します。再度、**運転切/入**を押すと運転を再開します。

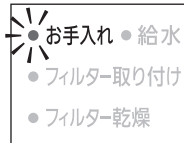
※トレーが奥まで取り付けられていない場合も給水ランプが点滅します。

給水しても給水ランプが消灯しないときは、トレーがきちんと奥まで取り付けられているか確認してください。



お手入れランプが点滅したとき

お手入れ時期（約240時間動作後）になると、お手入れランプが点滅します。



以下の手順でお手入れをしてください。

- ①コンセントから電源プラグを抜く
- ②トレー、水タンクを取り出し、ポンプセットを外す
- ③前パネルを外し、プレフィルター、加湿フィルターセットを外す
- ④プレフィルター、加湿フィルターセット、トレー、水タンク、ポンプセットをお手入れし（→P15～19）、本体に取り付ける
- ⑤電源プラグを差し込み、イオンを約3秒押し、お手入れランプを消灯する（お手入れリセット）

お手入れリセット（長押し）

- 通電中は点滅し続けます。
- お手入れランプが点滅していなくても、イオンボタンを長押しすると、お手入れ時間をリセットできます。

i お願い

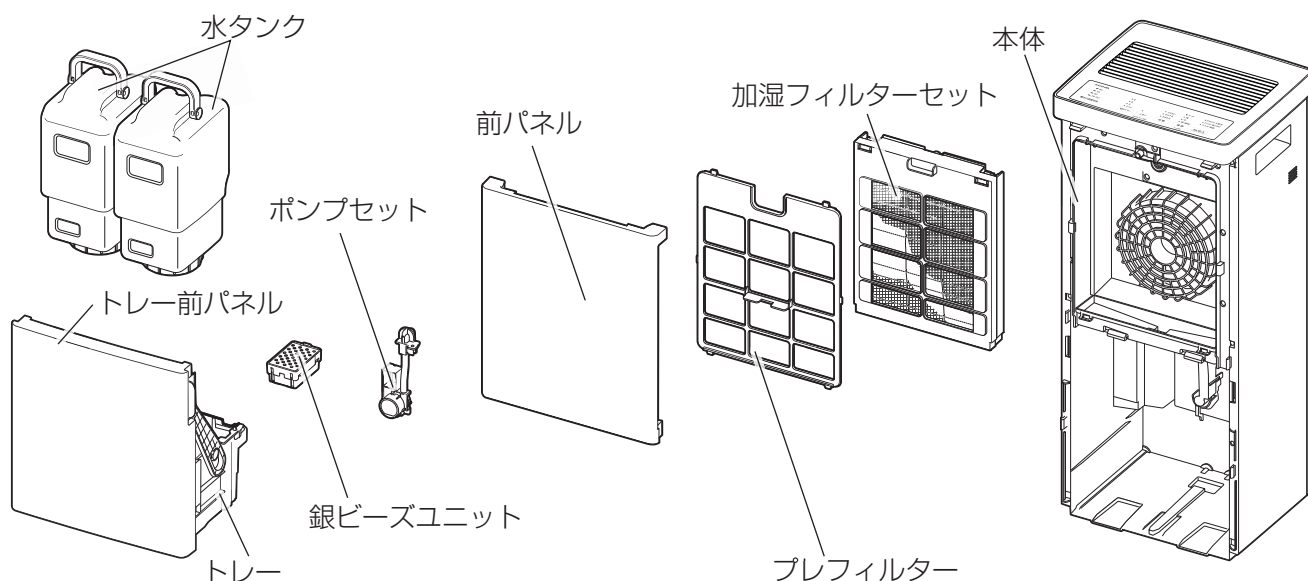
- お手入れしないで使い続けると、加湿量が低下したり、においやフィルター縮みの原因になります。こまめにお手入れをしてください。

お手入れ



注意

- お手入れするときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。



水タンク

毎日

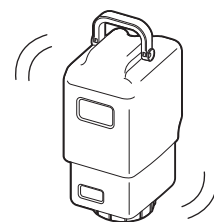
少量の水を入れ、タンクキャップを締めて振り洗いする

- ・汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤が残らないように、しっかりすすいでください。

① お願い

- タンクキャップは確実に締めてください。

タンクキャップが斜めになっていたり、ゆるんでいたりすると、水が水タンクからこぼれて、本体の故障や水もれの原因となります。



トレー

毎日

以下の手順でお手入れしてください。

- ①トレー内の水を捨てる
- ②トレー前パネルを取り外す (→P16)
- ③トレーを水洗いする

- ・フロートまわりは、細めの綿棒などで汚れを落としてください。

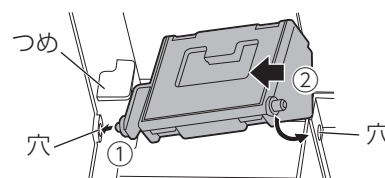
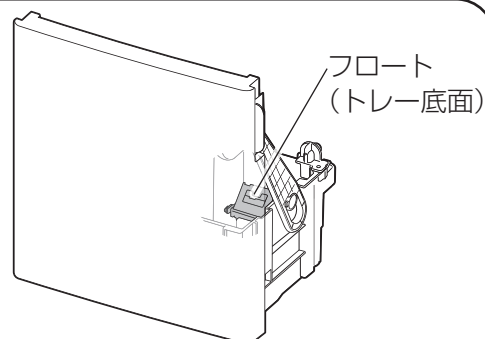
※フロートは、外さないでください。

※フロートまわりに汚れがたまると、給水ランプが誤作動するおそれがあります。

※水を捨てる前にトレー前パネルを取り外すと水がこぼれるおそれがあります。

●フロートが外れたときは

- ①フロートの突起をトレーのつめの下に入れ、穴に差し込む
- ②フロートを矢印方向に押しながら、反対側の突起も穴に差し込む



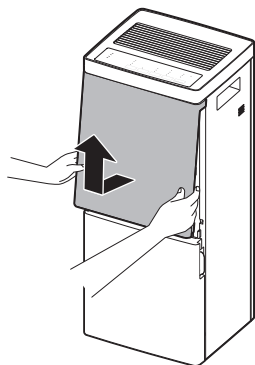
お手入れ つづき

本体・前パネル・トレー前パネル

約1か月に1回

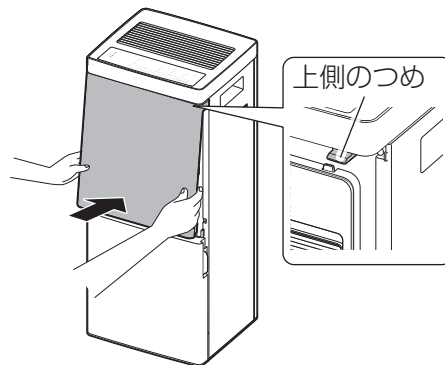
よく絞った柔らかい布で拭く

- 前パネルの取り外しかた
両手で手前に引き上げる



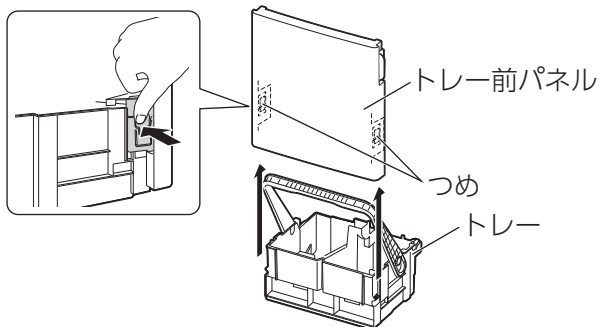
- 前パネルの取り付けかた

- ①前パネルの上側のつめを本体に引っかける
- ②前パネルの下側を本体に押し込む



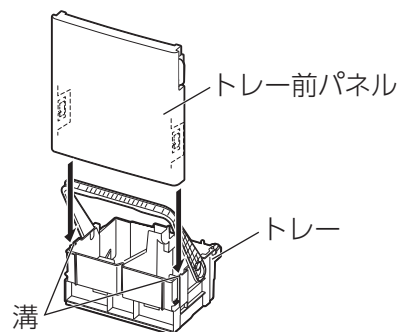
- トレー前パネルの取り外しかた

トレーを引き出し、トレー前パネルを内側にある左右のつめを押しながら、上に引き上げる



- トレー前パネルの取り付けかた

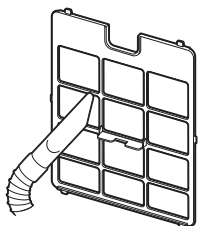
トレーの溝にトレー前パネルの溝を合わせ、下に押し込む



プレフィルター

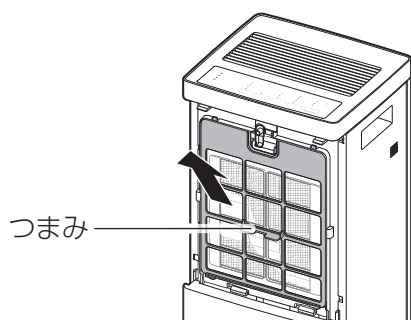
約1か月に1回

掃除機などで汚れを取る



- 取り外しかた

- ①本体から前パネルを外す（上記参照）
- ②中央のつまみをつまんで、手前に引っ張って外す

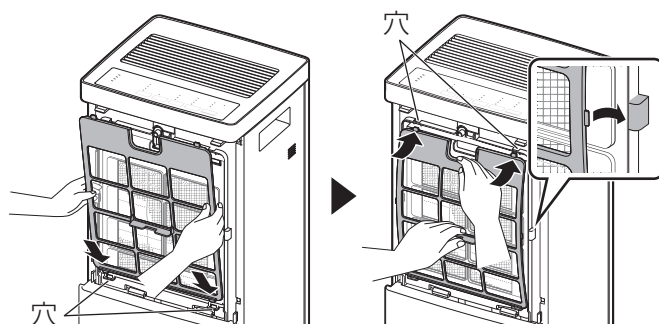


① お願い

- プレフィルターを外したまま運転しないでください。
吸ったほこりが本体内部に入り、故障の原因になります。

- 取り付けかた

- ①下側の突起を本体の穴に差し込む
- ②中央のつまみをつまんでプレフィルターをたるませながら、上側の突起を本体の穴に差し込む
- ③正面から押し込み、左右の突起を本体の穴に差し込む



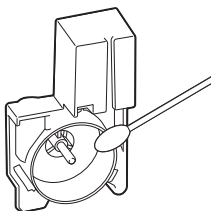
ポンプセット

約1か月に1回

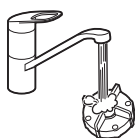
水洗いする

ホース、パッキンは外さないでください。

- ・ポンプ内部などの細部は、細めの綿棒などで汚れを落としてください。



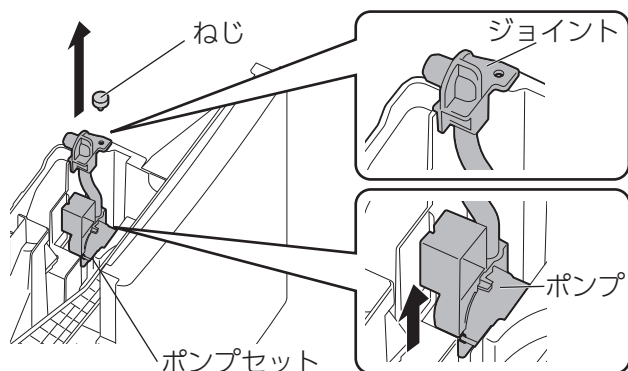
- ・汚れが落ちにくい場合は、台所用中性洗剤またはクエン酸を使用してください。洗った後は、洗剤が残らないように、しっかりすすいでください。



●取り外しかた

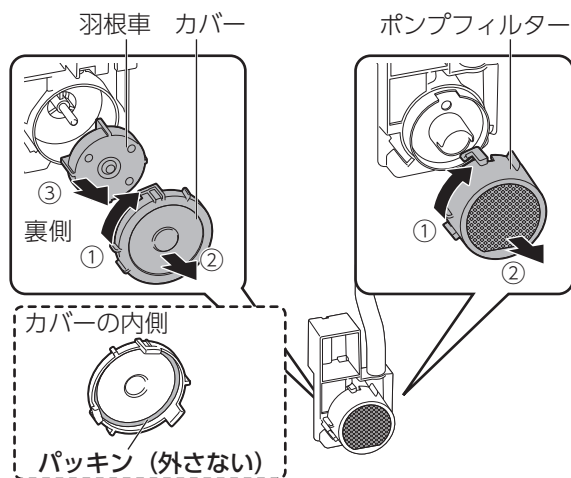
①ねじを外し、ジョイントをトレーから外す

②ポンプセットを引き上げて抜く



③ポンプセットからポンプフィルターと羽根車を外す

- ・ポンプフィルターと反対側のカバーを右の方向に回し、羽根車を外します。



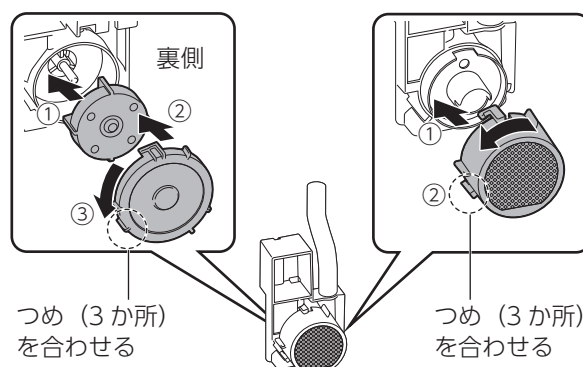
① お願い

●外した部品は確実に取り付けてください。

- ・水タンクの水を本体へ供給できなくなります。
- ・パッキンが外れていないか確認してください。水もれや故障の原因になります。

●取り付けかた

①ポンプセットにポンプフィルターと羽根車、カバーを取り付ける



②トレーにポンプセットを取り付ける



ポンプセットのお手入れ時期の目安は、約1か月に1回です。(1日8時間運転で定期的なお手入れをした場合)

ただし、水質やご使用状況により汚れ方が変わるため、次の場合はお手入れしてください。

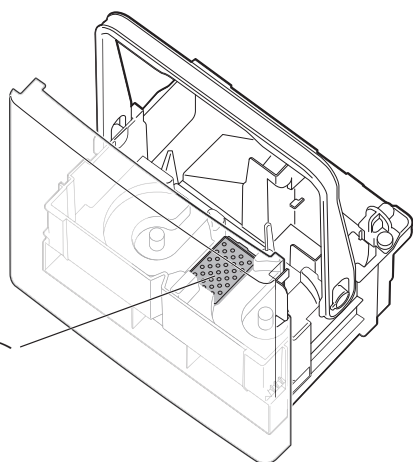
- ・トレー内が汚れている
- ・水タンクの水が減らない
- ・トレー付近から音がする

お手入れ つづき

銀ビーズユニット

毎日：水洗い、約3か月に1回：つけ置き洗い

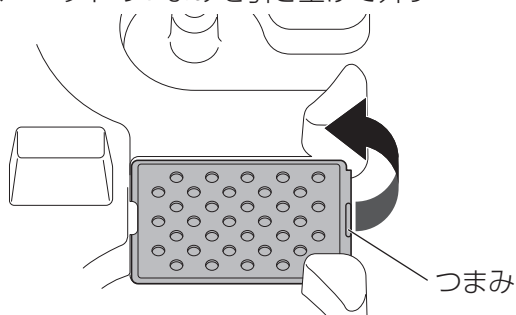
水洗いする



銀ビーズユニット

●取り外しかた

銀ビーズユニットのつまみを引き上げて外す



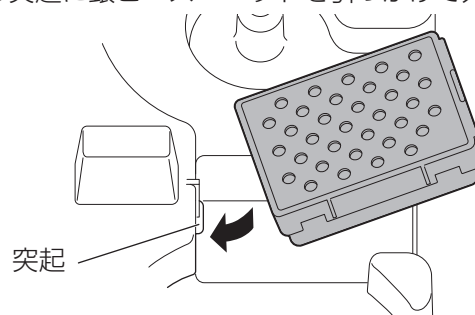
i お願い

●銀ビーズユニットは分解しないでください。

- ・銀ビーズユニットから黒い粉が出ることがありますが、性能に問題はありません。
- ・銀ビーズは使用とともに小さくなりますが、性能に問題はありません。

●取り付けかた

トレーの突起に銀ビーズユニットを引っかけて入れる



つけ置き洗いする

- ・台所用中性洗剤またはクエン酸を使用してください。
- ・細部は細めの綿棒などで汚れを落としてください。

クエン酸の使いかた

●クエン酸水溶液の作りかた

3Lの水またはぬるま湯に対し、クエン酸20gまたは大さじ1すりきり2杯を入れてよく溶かします。
※濃度が高いと部品が破損するおそれがあります。

●クエン酸水溶液の使いかた

①クエン酸水溶液につけ置きしたあと、すすぎ洗いをしてください。

銀ビーズユニットのつけ置き時間：30分間

②新しい水ですすぎ洗いをしてください。

水を入れ替えて、2～3回繰り返すすぎ、クエン酸が残らないように十分に水洗いしてください。

加湿フィルターセット

約1か月に1回

■ 加湿フィルター

水かぬるま湯で押し洗いする

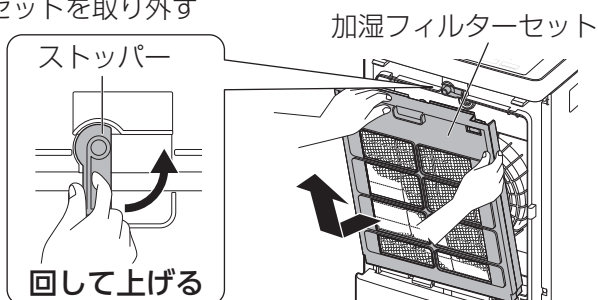
- ・お手入れ後、すぐに使う場合は、ぬれたままで構いません。収納する場合は十分に乾かしてから戻してください。

■ フィルター枠

水洗いする

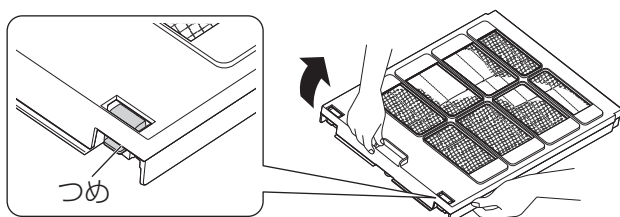
● 加湿フィルターセットの取り外しかた

- ① 本体から前パネルとプレフィルターを外す (→P16)
- ② 上部のストッパーを回して上げ、加湿フィルターセットを取り外す



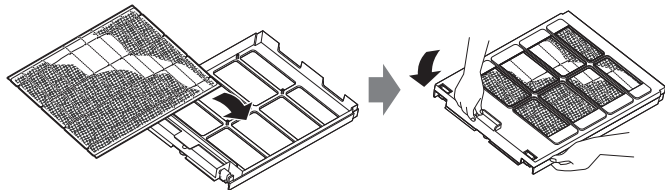
フィルター枠の外しかた

フィルター枠上部の2か所のつめを外す



加湿フィルター取り付け

加湿フィルターはフィルター枠からはみ出ないように、しっかりと入れる

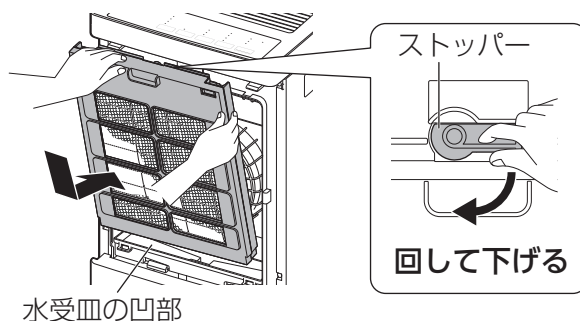


① お願い

- 外すときや取り付けるとき、持ち運ぶときは加湿フィルターセットから水がこぼれないように注意してください。
- 加湿フィルターを入れる際は、フィルター枠とすき間ができたり、しわになったりはみ出したりしないようにしてください。
加湿量が少なくなることがあります。
- 加湿フィルターはお手入れしないと縮むことがあります。縮んだ場合は、加湿フィルターを伸ばしてから、すき間ができないようにフィルター枠に入れてください。
- 運転するときは、必ず加湿フィルターセットを取り付け、ストッパーで固定してください。加湿フィルターセットを取り付けていないとフィルター取り付けランプが点灯して運転せず、ストッパーで固定していないとランプが点滅して運転しません。

● 加湿フィルターセットの取り付けかた

- ① 水受皿の凹部に加湿フィルターセットを入れる
- ② 上部のストッパーを回して下げ、加湿フィルターセットを固定する



内部清潔モード

シーズンオフの片づけ時に、本体内部やフィルターなどを乾燥させるモードです。

電源オフ時に **自動** を約3秒押してください。お手入れランプが点灯し、約2時間内部清潔運転を行います。

お手入れ つづき

加湿フィルターの交換

加湿フィルター交換時期の目安は、約2年に1回です。(1日8時間運転で定期的なお手入れをした場合)

・「別売品」(→P23)をご覧ください。

※ 交換の目安は、加湿量が約半分に落ちるまでの期間です。ただし、水質やご使用状況により寿命が変わるため、次の場合は交換してください。

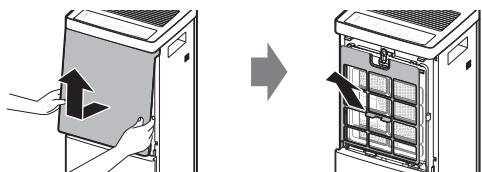
- ・ お手入れしても、においが取れない
- ・ 傷みがひどい
- ・ 水タンクの水が減らない
- ・ 縮みがひどい

※ 加湿フィルターは不燃物として捨ててください。

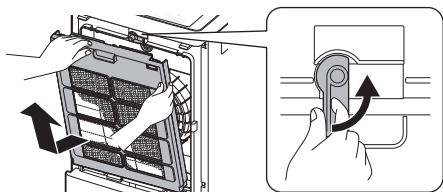
※ フィルター枠は捨てないでください。

●加湿フィルターの交換方法

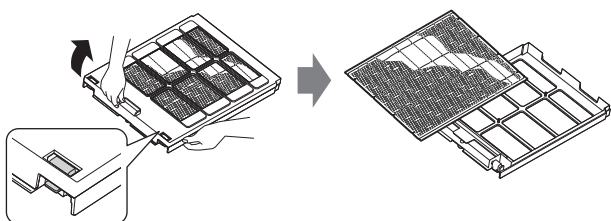
①本体から前パネルとプレフィルターを外す



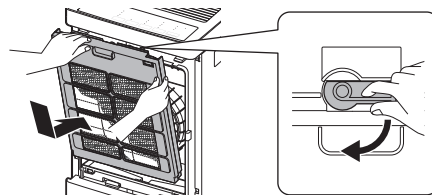
②上部のストッパーを回して上げ、加湿フィルターセットを取り外す



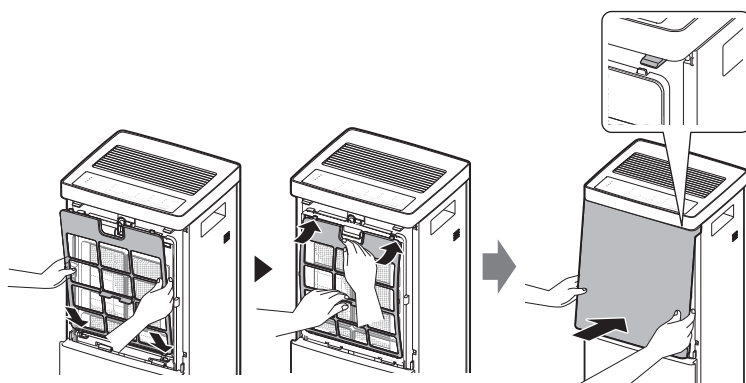
③フィルター枠を取り外し、新しい加湿フィルターを取り付ける



④水受皿の凹部に加湿フィルターセットを取り付けて、上部のストッパーを回して下げる



⑤プレフィルター、前パネルの順に取り付ける



ポンプセットの交換

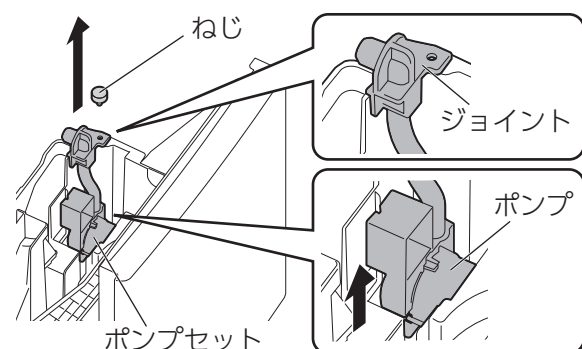
・「消耗品」(→P23)をご覧ください。

※ 交換の目安は水をくみ上げるときの音が大きくなってきたときです。

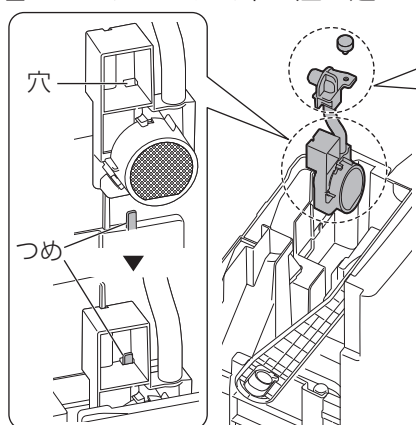
●ポンプセットの交換方法

①ねじを外し、ジョイントをトレーから外す

②ポンプセットを引き上げて抜く



③トレーのつめとポンプセットの穴を合わせて、まっすぐ下へ差し込む



ねじ穴の位置を合わせて、ジョイントをトレーに差し込む。



こまったときは・・・

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状態	原因・処置
加湿フィルターが変色する	水質などにより変色することがありますが、性能上の問題はありません。
加湿フィルターがぬれていない	加湿フィルターの表面がぬれていない場合がありますが、フィルターの内側がぬれて加湿しますので、故障ではありません。
	加湿フィルターが乾いていて、水タンクの水が減っていない場合は、以下の原因が考えられます。 ・加湿フィルターセット、トレー、ポンプセットが確実に取り付けられていますか。正しく取り付けてください。(→P10、17、19) ・トレーが汚れていたり、加湿フィルターやポンプフィルター、羽根車(ポンプセット内部)に水あかやごみが付いていたりしませんか。トレーをお手入れして、汚れを落としてください。(→P15) 加湿フィルターやポンプフィルター、羽根車の水あかやごみを取り除いてください。(→P17、19)
水タンクの水が減らない	ポンプセットは、確実に取り付けられていますか。正しく取り付けてください。(→P17)
	ポンプフィルター、羽根車(ポンプセット内部)に、水あかやごみが付いていませんか。水あかやごみを取り除いてください。(→P17)
	トレーが奥まで挿入されていますか。しっかり押し込んで確実に取り付けてください。(→P10)
水がもれる	トレーが奥まで挿入されていますか。しっかり押し込んで確実に取り付けてください。(→P10)
	加湿フィルターセットやポンプセットは、確実に取り付けられていますか。正しく取り付けてください。(→P17、19)
本体から音がする	水タンクから水が流れ落ちるとき、空気の抜ける「ポコポコ音」がすることがあります。異常ではありません。
	ポンプが定期的に水をくみ上げる音がします。異常ではありません。
	ポンプフィルターに、水あかやごみが付いていませんか。水あかやごみを取り除いてください。(→P17) それでも、音がする場合は、ポンプセットの寿命のおそれがあります。ポンプセットの交換をしてください。
トレー付近から音がする	ポンプに入った空気を抜く音です。空気が抜けると音は止まります。音が鳴り続ける場合は、いったん運転を「切」にして、トレーを入れ直してください。(→P10)
運転開始直後にカラカラと音がする	ポンプが安定して水をくみ上げるまで、音がする場合があります。運転を「切」にして本体を停止させ、再度運転を開始してください。数回くり返しても音がする場合は、ポンプセットが外れていることがあります。一度ポンプセットを取り外して、正しく取り付け直してください。(→P17) それでも、音がする場合は、ポンプセットの寿命のおそれがあります。ポンプセットの交換をしてください。
フィルター取り付けランプが点灯している	加湿フィルターセットが取り付けられていないためです。加湿フィルターセットを取り付けてください。
フィルター取り付けランプが点滅している	ストッパーで加湿フィルターセットを固定していないためです。ストッパーで加湿フィルターセットを固定してください。
電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない可能性があります。電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
風が弱い	自動運転モードで加湿中に、部屋の湿度が設定湿度を超えている可能性があります。湿度コントロール機能が働いているため異常ではありません。
	プレフィルターがホコリで目詰まりしていませんか。目詰まりを取り除いてください。
電源を切ったのに風が出ている	電源を切ってもフィルターを乾燥させるために数分間はファンが自動運転します。フィルター乾燥ランプが消灯するまでコンセントから電源プラグを抜かないでください。

こまったときは・・・ つづき

風が冷たい	水が気化しているため風は室温より冷たくなることがあります。異常ではありません。
加湿中に霧が見えない	本製品は風で水を蒸発させる方式のため、霧はほとんど発生しません。
湿度があがらない	部屋が適用床面積より広すぎる可能性があります。適用床面積で使用してください。
	窓や戸が開いている可能性があります。窓や戸を閉めて使用してください。
吹き出し口からの風がおう	フィルターが汚れている可能性があります。フィルターのお手入れをしてください。
ターボ運転で風量があがらない	湿度60%を超えている場合はターボ運転でも風量があがりません。 また、ターボ運転開始後しばらくの間、フィルターに水が馴染むまでは風量を抑えて運転します。

■ エラー表示

状態	原因・処置
給水ランプ点滅	水タンクの水がなくなりました。給水をしてください。 トレーのずれを検知しました。トレーを奥まで確実に取り付けてください。
フィルター取り付けランプ点滅	ストッパーで加湿フィルターセットが固定されていません。ストッパーで加湿フィルターセットを固定してください。
フィルター取り付けランプ点灯	加湿フィルターセットが取り付けられていません。加湿フィルターセットを取り付けてください。
動作中のモード以外のランプが点滅する	内部が故障している可能性があります。電源コードを抜き、使用を中止して、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告 ●ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

仕様

型番		HDF-1000
定格電圧		AC100V
定格周波数		50 / 60 Hz
定格消費電力（ターボモード時）		39W
適用床面積	木造和室	15畳
	プレハブ洋室	25畳
加湿量（ターボモード時）※ ¹		約900mL / h
連続加湿時間（ターボモード時）※ ²		約8時間
タンク容量		約7L
使用環境温度範囲		5 ～ 35 ℃
寸法		幅304×奥行264×高さ734mm
質量（水を含まず）		約10.2kg
電源コード長		約2.0m

※1 室温20℃、湿度30%の条件下での値です。室内の温度や湿度によって、加湿量は異なります。

※2 室温20℃、湿度30%の条件下で、連続加湿したときの値です。

※ 適用床面積は保証値ではありません。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

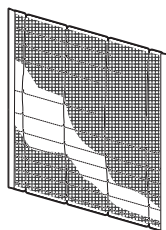
別売品・消耗品

■ 別売品

加湿フィルター

型番：FLH-B100A

※ 約2年に1回交換してください。

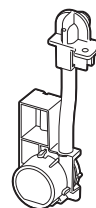


■ 消耗品

ポンプセットは消耗品です。

お手入れしても音がする場合は、交換してください。

消耗品についてはアイリスコールへお問い合わせください。



別売品についてはお買い上げの販売店またはアイリスプラザ (<https://www.irisplaza.co.jp>) でお買い求めください。



保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用の加湿器の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- 水もれする
- 運転中に異常な音がある
- 電源コードが傷ついている
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

気化加湿器 型番 HDF-1000

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間	
年 月 日				ただし、消耗品を除く	
お客様	お名前			※ 販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話 () -				
			電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

アイリスコール 0120-311-564

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

修理専用コール 0800-170-7070

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。